

東京画 (1985)

TOKYO-GA

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 西ドイツ/アメリカ

色彩 Color

時間 93分

初公開日 1989/06/17

公開情報 フランス映画社

映倫 G

【解説】

小津安二郎に影響を受けたというヴェンダースが、鎌倉にある小津の墓を訪ねる旅に、様々な東京の情景をからめて構成された、私的なドキュメンタリーである。道が風景を切り開かない日本での旅（ロード）は、静的で、まるで映像による俳句を見ているかのようだ。挿入される“画”は、列車の車窓、パチンコ、竹の子族……、そして、小津ゆかりの人々へのインタビュー・シーン。長廻しの小津作品を支える撮影の厚田雄春や、俳優・笠智衆との対話は、散文の叙述の迫力というものをまざまざと見せつける。なおこれは、今となっては、実に貴重な両名の記録となった。

【クレジット】

監督	ヴィム・ヴェンダース	Wim Wenders
製作	クリス・ジーヴァニッチ	Chris Sievernich
脚本	ヴィム・ヴェンダース	Wim Wenders
撮影	エド・ラッハマン	Ed Lachman
音楽	ローリー・ペッチガンド ミーシュ・マルサー チコ・ロイ・オルテガ	
出演	厚田雄春 笠智衆 ヴェルナー・ヘルツォーク	Werner Herzog